

## 第51回豊川市行政経営改革審議会 会議録

日時：令和7年9月29日（月）午前10時00分～10時50分

場所：豊川市役所本34会議室

出席者：

豊橋創造大学教授 見目 喜重委員

愛知大学教授 竹田 聰委員

豊川商工会議所専務理事 長谷川 完一郎委員

東海税理士会豊橋支部理事 乙部 享祐委員

連合愛知三河東地域協議会事務局長 酒井 雅喜委員

豊川信用金庫常務理事 曽田 光子委員

ひまわり農業協同組合総合企画部長 溝口 隆文委員

社会福祉法人メンタルネットとよかわ理事 石川 智規委員

豊川市教育委員 池田 洋子委員

愛知県社会保険労務士会会員 渡辺 裕一郎委員

公募 小林 尚美委員

公募 緒河 瞳子委員

欠席者：

豊川青年会議所会員拡大会議体議長 田中 大造委員

事務局：

総務部長、総務部次長、行政課長始め行政課職員 4名

### ◎行政経営改革プラン2025取組状況の評価について

会長

それでは、前回の審議会後に出た質問・意見について、事務局から説明をお願いします。

事務局

資料1、2について説明

会長

取組評価結果の下の方に、審議会からの意見を記入していただきましたが、この意見あるいは担当課の考えについても、気になるところはありますでしょうか。もう一度確認したいことなどありましたら、ご発言いただければと思いますがいかがでしょうか。

会長	私が確認させていただきたいのですが、取組No. 6スポーツイベント開催支援の審議会からの意見について。こちらは、ほぼ目標値に達している、実績も出しているということで、おそらくこの意見としては総合評価を変えてもいいのではないかという話かと思うのですが、事務局としてはこのままの形で意見を併記し、次年度検討するということでよろしいでしょうか。
事務局	はい。現時点では、事務局としては総合評価Bと考えています。ご意見、質問等については担当課の方へお伝えしようと考えています。
会長	それでは、取組No. 25財務事務に係るリスク管理の推進について、書き方の問題かと思いますが、審議会からの意見で、「目標値を下回ったので、左記の方のとおり評価した。」というのは違和感があるということで、書き方を変えていただければという意見があったと思いますが、こちらの方は、今日いただいた資料を見ると、それに変えるということでよろしいですよね。
事務局	そうです。本日に向けては、自己評価のところに修正をかけてはいないのですが、審議会の意見として、「不備が35件発生したため、左記のとおり評価とした。」という方が、より具体的だと考えますので、評価内容のコメントについては、変更したいと思っております。
委員	すみません。これは私が書いたと思うのですが、他の意見にもありましたように、この35件の内容について、事の軽重で分類しているのでしょうか。例えば、何かミスがあり、すぐ検証の段階で見つかって、その訂正で済んだ、そのような場合は件数に入っていないと考えてよろしいですか。この不備というのが、例えば窓口の市民対応で間違えて、市民に渡ってしまったという不備が35件ということでしょうか。それによって違うかもしれない。 重大な不備で判断したらどうかというのは、同意見で、その部署内で当日中にわかったようなものは、単なる事務ミス。ミスがいいというわけではないですが、そういうことでいいと思います。それ

	<p>は入っていない35件なのかというところも問題なのかと思います。</p> <p>人間なのでミスはありますから、それが見つかる、次に見つかるような仕組みが大切。それが内部統制の制度だと思うのですが、そういう仕組みづくりということで、検証まで漏れて、他部署ないし、市民に及んだときに、重大不備とするような。あと、もっと重大不備でいうと賠償問題になったときとか、そういったことになろうかと思うのですが、その辺の分析はされているのでしょうか。</p>
事務局	<p>内部統制において、どこのレベルでミスが止まったかというところでございますが、基本的には内部で止まつていれば、そこは該当にはなっておりません。</p> <p>ただ、例えばよくあるのが、会計年度任用職員の給与の関係で、少し多く払ってしまったとか、少なかったというところはもう外へ出ている部分でございますので、件数に入っております。</p> <p>また、いわゆる入金の遅れや、支払ミスについても、同じく、この35件の中に入っています。</p>
	<p>前回の資料の中でこのNo. 25の見開きの右側の方には、各分類で収入や支出など、それぞれどういう部分で内部統制に係るリスク事案が発生したかというところを分析しながら、管理を徹底している状況です。</p>
会長	<p>他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>すみませんもう1つよろしいでしょうか。</p> <p>質問の中で、今日の解説の中にはなかったのですが、財源確保のための債券運用の利息について目標設定が難しいという回答をいただいています。ただですね、普通考えると、財源でこれぐらいは運用利息を取りたいな、これぐらい必要だな、例えば1000万ぐらい増加させたいなと思ったときに、何を買うかわからないにしても私どもでも、その時の市況だと、何%の何年ものの債券を買うとこれだけ達成するぐらいのことは試算します。</p> <p>財源確保を目標に具体的に挙げられていますが、そういった計画すらなく、求められたら場当たり的に買うということになると、言</p>

	<p>い方は悪いですが、計画とは言えないということを申し上げたいと思います。</p> <p>事務局 委員からいただいたご質問について担当課としては、担当課等から要望があった時に買うという回答になっているところだと思います。今のご意見については担当課の方へつないでいきたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>会長 他いかがでしょうか。 すみません、私からもう1つ申し訳ありません。 先ほどの次の取組No. 26ですけれども、意見として「目標100%に対して実績100%という最高の結果なのであるから、総合評価Aでもいいのではないか。No. 25と連動させる意味がわからない。連動させたいのであれば、No. 25と26を統合したらどうか」という話が出ております。 これはいろいろな考えがあるかと思うのですが、研修をやってその効果を何で測るのか、その結果を以って、取組みがよかつたかどうかということを評価するのがひとつの流れかなという気が、個人的にはしております。 今回の評価結果もそういう流れと、そういうことを考えられていることかと思うのですが、先ほどいただいた資料2の差し替えの資料を見ますと、今後はこのNo. 25、26の統合について検討していきたいと考えている様に思います、こちらの方は、こういう流れでいいのではないかと思っております。</p> <p>事務局 No. 26については、研修で一応みんな理解をしているという回答ですけども、実際、内部統制のリスク事案が35件発生しているということで、研修の効果がどこまで出ているかというころを見たときに、リスクがなかなか減らないということで、自己評価としては、B評価としている状況でございます。 ご提案いただいたように、No. 25、26については、いわゆる内部統制に関する取組みになりますので、全体的な計画や新しいプランを作るときには1つにするのが、審議会としての意見とも一致するのかと思っておりますので、考えたいと思います。</p>
--	--

会長	<p>ありがとうございました。他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>すみません、よろしいですか。</p> <p>今の件ですけど、研修をやられても35件ということだったので、研修の他にも、いろいろフォローアップかなんかをされているのですよね。もちろん研修をやっただけだと、投げっ放しやりっ放しになってしまって、その辺はどのようになっているのかと、あとミスしたところのランク付けみたいなものはあるのですか。前回聞かなければいけなかったかもしれないんですけど。</p> <p>重大なものがAとか、4段階とか5段階に分かれているか、そういうものが理解されているのか。どんな事案だったのかとか、中身までは言えないのかもしれないですが、どのランクかがわかれれば、わかりやすいのかなと思いました。</p>
事務局	<p>研修開催後については、その場でのアンケートは実施をするのですが、年間を通して、内部統制に関する情報共有するための内部統制通信というものを年に数回出して、どういう事案が発生しているかを全庁的に共有していることが、ひとつのフォローとなっています。</p> <p>ランク付けという部分が、先ほど渡辺委員が言われるようにA B C Dとかそういうランク付けではなく、重大な不備なのかそうでないのかというところで、リスク事案を分けている状況です。</p> <p>状況としては、本当にヒューマンエラー、ケアレスミスの部分が多くを占めています。内部で重大な不備かどうかという、一定の基準を持って、事案を確認しているのですが、令和6年度については、重大な不備に該当するものがなかったという結果でございました。</p> <p>リスク管理シートは、事務の中でできるだけミスを生じさせないポイントがどこであるかを確認ができるようなものとなっておりますけども、小さなミスも含めて35件起きているということは、さらなるリスク事案防止に向けたリスク管理シートの活用というのが、必要ではないかと感じています。</p>
会長	<p>他いかがでしょうか。</p>

	<p>私からもう 1 つ、申し訳ありません。</p> <p>資料 1 の 1 ページ目の取組 N o. 7 ですが、今後 A I 活用していくということで、回答で「府内情報ネットワーク内に、府内の活用事例を掲載しておりますが、他市町村の活用事例やイメージがしやすい動画掲載も検討していく」ということで、それで活用を図っていきたいという話だったのですが、本学もそうなのですが、情報系があまり強くない方というのは、実際に事例や動画を挙げて、それ見てもやはり前に進めないことが多いかなと思います。確か業者さんの巡回があったかと思うので、そういうところで、より具体的な提案や、場合によっては、事例を見せるとか、そういうこともぜひ検討していただければなと思います。その辺りもまたお伝えいただければと思います。</p>
事務局	<p>令和 6 年度の実績ですと、委託業者が 11 回定期訪問で回っているということでございますので、今アドバイスいただいた、更なる活用や具体的な場面での事例の整理等については、担当している情報政策課の方へ伝えたいと思います。</p>
会長	ありがとうございます。他いかがでしょうか。
会長	<p>それでは、本日もいくつか意見出たかと思いますので、事務局において、担当部署と相談しながら適宜追記するなどの対応を行っていただきますよう、お願いいいたします。本日の議題は以上となります。</p>
事務局	<p>最後に事務局から事務連絡をお願いいたします。</p> <p><b>◎その他（次回の審議会について）</b></p> <p>事務局から連絡事項 4 点。</p>